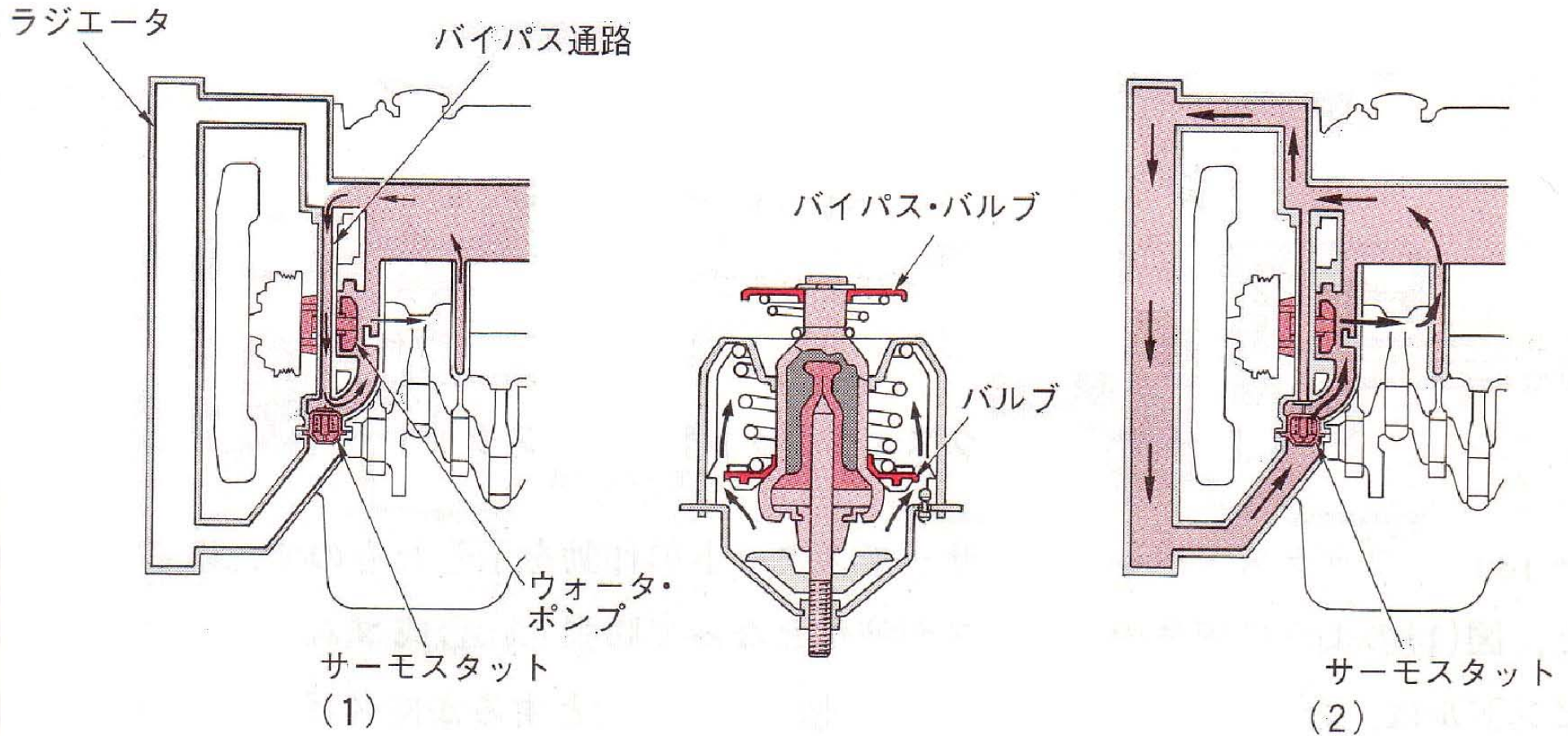


自動車整備士の勘違い

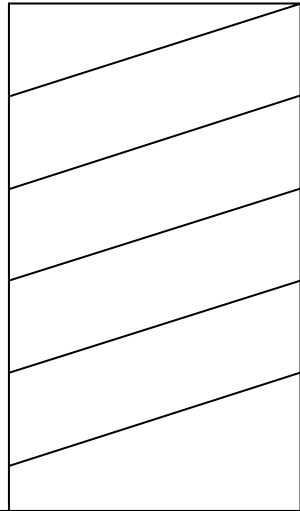
1. サーモスタットを外したのに、オーバヒートする。
2. 右ネジと左ネジの見分け方
3. 日常点検項目は定期点検項目にない
4. 車検に合格しても車は変わってない
5. サイドスリップ・テスターは0が良いと信じている。
6. 故障診断器は故障を直せるものと思っている。

1. サーマスタットを外したのに、オーバヒートする。

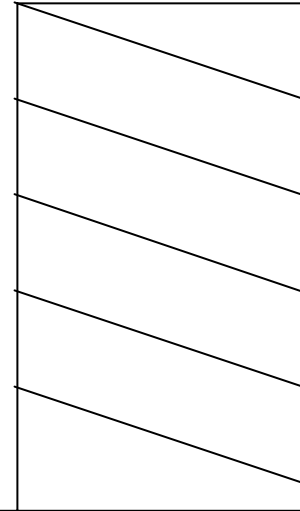


サーモスタットの作動による冷却水の循環

2. 右ネジと左ネジの見分け方



右ネジ
右上がり



左ネジ
左上がり

3. 日常点検項目は定期点検項目にない

2年定期点検用整備記録簿 分解整備記録簿(写)













※第1回は1000km以下の走行距離によって適時できる項目
※第2回は10000km以下

点検の結果及び整備の概要

自家 費用	点検 良好	交換	調整	A	清掃	C	省略	P
費用	分解	修理	調整	T	油(油)	L	該当 なし	

依頼者(使用者) 氏名又は名称	自動車登録番号又は車両番号
住所	車台番号

別表6

エンジン・ルーム点検		室内点検		下廻り点検		日常点検																							
■パワーステアリング ベルトの緩み、損傷 ★取付けの緩み オイルの濡れ オイルの量 	■冷却装置 ファンベルトの緩み、損傷 冷却水の濡れ ファンベルト 	■ハンドル 操作具合 遊び、がた ■ブレーキ・ペダル 遊び 踏み込んだときの床板とのすき間 ブレーキのきき具合 	■パーキング・ブレーキ(ペダル) 引きしる(踏みしる) パーキング・ブレーキのきき具合 	■エンジン・オイル 濡れ ■ステアリング・ギヤ・ボックス ★取付けの緩み ■ステアリングのロッド、アーム類 ★緩み、がた、損傷 ボール・ジョイントのダストブーツの亀裂、損傷 ■トランスミッション、トランスファ ★オイルの濡れ、量 	■エキゾースト・パイプ、マフラー ★取付けの緩み、損傷、腐食 空燃調整の取付けの緩み、損傷、腐食 マフラーの機能 	■ブレーキ液の量/バッテリー液の量 ■冷却水の量/エンジン・オイルの量 エンジンのかかり具合、異音 低速と加速の状態 ヘッドランプ、ストップランプ、ウインカー、ランプ等の点灯、汚れ、損傷 ウインドウウォッシャー液の量、噴射状態 ワイパの拭き取り状態	次回定期点検は 年 月 日です。 (本車庫をお待ちしております)																						
■点火装置 ★スパークプラグの状態 点火時期 ディストリビュータのキャップの状態 	■燃料装置 燃料濡れ エンジン 	■ホイール ★タイヤの空気圧(スペアタイヤ含む) ★タイヤの亀裂、損傷 ★タイヤの溝の深さ、異常な磨耗 ★ボルト、ナットの緩み ■フロント・ホイールベアリングのがた ★リア・ホイールベアリングのがた	■クラッチ・ペダル 遊び 切れたときの床板とのすき間 	■プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフト ★連結部の緩み 90度シャフトはコンパネに90度印のストローブの回転位置 	■外廻り点検 フレーム、ボデー 緩み、損傷 ■厳しい使用れ方をする車の点検項目 厳しい使用れ方をする車の点検項目	その他の点検項目等(特殊な装置)・交換部品 車載コンピュータ診断結果 エンジン A/T ABS エアバッグ メンテナンスに関するアドバイス	この記録簿は、2年間 保存して下さい。																						
■バッテリー、電気配線 ターミナル部の緩み、腐食による接続不良 電気配線の接続部の緩み、損傷 	■公害発防止装置等 メタリングバルブの状態 プロバイダガス還元装置の配管の損傷 燃料蒸発ガス排出抑制装置の配管等の損傷 チャコール・キャニスタの詰まり、損傷 燃料蒸発ガス排出抑制装置のチェックバルブの機能 触媒反応方式等の排気ガス減少装置の取付けの緩み、損傷 二次空気供給装置の機能 排気ガス再循環装置の機能 減速時排気ガス減少装置の機能 一般化炭素発防止装置の配管の損傷、取付状態	■サスペンション 取付部、連結部の緩み、がた、損傷 ■ブレーキ・ディスク、ドラム ★ディスクとパッドとのすき間 ★ブレーキパッドの磨耗 ディスクの磨耗、損傷 ★ドラムとライニングとのすき間 ★ブレーキシューの磨耗部分、ライニングの磨耗 ■ブレーキのマスク・シリンダ、ホイール・シリンダ、ディスク・キャリパ マスク・シリンダの液漏れ ホイール・シリンダの液漏れ ディスク・キャリパの液漏れ マスク・シリンダの磨耗、磨耗、損傷 ホイール・シリンダの磨耗、磨耗、損傷 ディスク・キャリパの磨耗、磨耗、損傷	■ドライブ・シャフト ★オイルの濡れ ■ブレーキ・ホース、パイプ 濡れ、損傷、取付状態 	■かじ取り装置 ギヤ・ボックスの機能 ナックル又はかじ取車輪の旋回動作 ■制動装置 制動力の機能 ■走行装置 リム又はホイール・ディスクの損傷 ■緩衝装置 ショック・アブソーバの緩衝能力 ショック・アブソーバの緩衝能力 ■動力伝達装置 クラッチの駆動機構の機能 トランスミッションの駆動機構の機能 トランスミッションの動力伝達機構の機能 プラベラ・シャフトの回転時の状態 ドライブ・シャフトの回転時の状態 駆動機の運転状態	●CO、HC濃度(アイドリング時) CO % HC ppm	●タイヤの溝の深さ(1.6mm以上) ●ブレーキパッド、ライニングの厚さ <table border="1"> <tr> <td>前輪</td> <td>左</td> <td>mm</td> <td>右</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>後輪</td> <td>左</td> <td>mm</td> <td>右</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>前輪</td> <td>左</td> <td>mm</td> <td>右</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>後輪</td> <td>左</td> <td>mm</td> <td>右</td> <td>mm</td> </tr> </table>	前輪	左	mm	右	mm	後輪	左	mm	右	mm	前輪	左	mm	右	mm	後輪	左	mm	右	mm	自動車分解整備事業者の 氏名又は名称 事業場の所在地 認定番号 第 号 (指定番号) (第 号)	点検の年月日 年 月 日 整備完了年月日 年 月 日 点検(整備)時の総走行距離 km 整備主任者の氏名	使用者用
前輪	左	mm	右	mm																									
後輪	左	mm	右	mm																									
前輪	左	mm	右	mm																									
後輪	左	mm	右	mm																									

定期点検整備 作業点数

- ① 3ヶ月、6ヶ月点検 省略
- ② 1年点検【 1.4 】(カロリークラス)
- ③ 2年点検【 2.2 】(カロリークラス)
- 保安確認検査【 1.5 】(カロリークラス)
- 日常点検【 0.3 】(カロリークラス)
- 合計【 4.0 】(カロリークラス)

4. 車検に合格しても車は変わってない

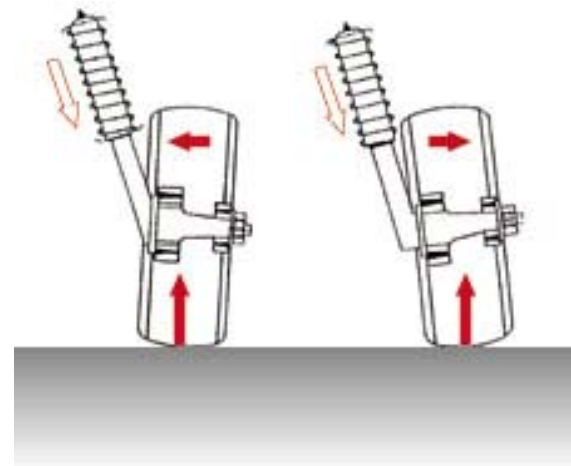
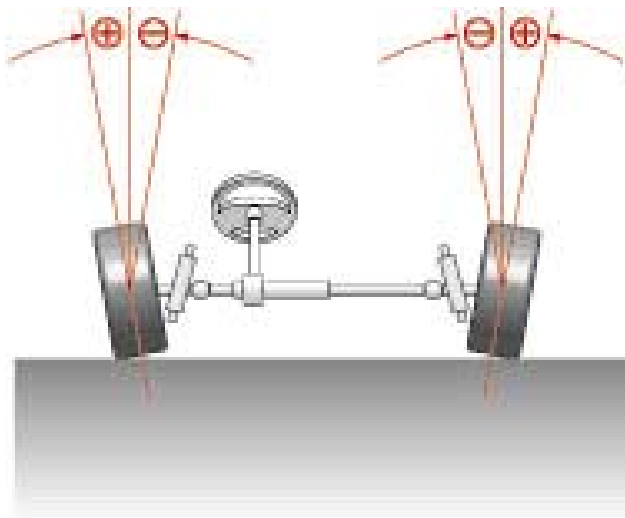
車検場で検査を受けて合格しても、
車は整備をしなければ、車検前と変わってない。

車検場でお払いをしただけです。

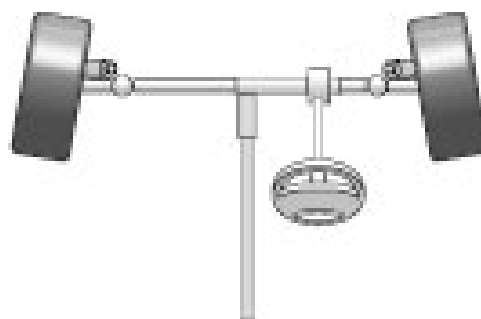
車を安全にできるのは、きちんとした整備工場で
整備をすることです。

そして、適正な整備料金を頂くことです。

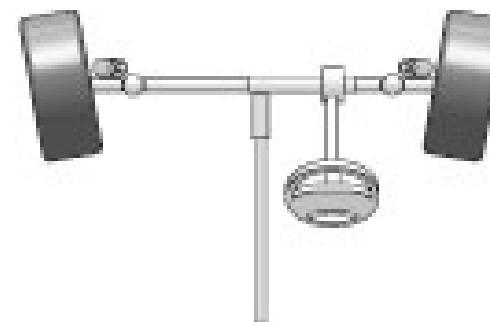
5. サイドスリップ・テスターは0が良いと信じている。



ポジチブ・キャンバ ネガチブ・キャンバ



トーイン



トーアウト

サイドスリップ量が 5を超えても良いとされる車両

横すべり量の例外的取扱い車両一覧表

車名	型式	通称名	キャンバー	カスター	トーイン	前輪懸架 方式	横滑り量(許容値)
メルセデス・ ベンツ	E-201024	190E	-0° 25' +10' -20'	10° 25' ±30'	0° 20' ±10' (4±2mm)	ストラット式	イン 7.5±5.0 mm
	E-201028	190E2.3	-0° 25' +10' -20'	10° 25' ±30'	0° 20' ±10' (4±2mm)	ストラット式	イン 7.5±5.0 mm
	E-201029	190E2.6	-0° 25' +10' -20'	10° 25' ±30'	0° 20' ±10' (4±2mm)	ストラット式	イン 7.5±5.0 mm

6. 故障診断器は故障を直せるものと思っている。

故障診断器とは

①車両が診断機能を持っている事が条件です。

平成12年規制以降は全車対応している。

②電子制御システムの故障(過去、現在)を記憶します。

部品の故障ではなく、ハーネス及び接続部を含む故障です。

③コンピュータに入力されるセンサ・データの表示。

故障を直すのは、整備士が判断して整備をします。